

平成 25 年度主要事項予算見積概要（認知症関連施策抜粋）

*額の単位は（百万円）

1 認知症高齢者の支援

(1) 認知症対策推進事業

認知症に対する中長期的な施策を検討するため「認知症対策推進会議」を運営するとともに、都民への普及啓発を図る。

〔24 年度当初予算額 4 → 25 年度見積額 5〕

(2) 医療従事者等の認知症対応力向上支援事業

認知症疾患医療センターが行う地域の医療従事者等への研修を体系的に実施するため、研修拠点を設置し、多職種共通のテキストの作成やセンターの研修実施を支援することにより、都内の医療従事者等の認知症対応力の向上を図る。

（新）〔25 年度見積額 12〕

(3) 認知症疾患医療センター運営事業

認知症の人が地域で安心して生活できるよう、認知症疾患医療センターを中心として、地域における医療・福祉相互の具体的連携体制を構築するとともに、関係者への研修等を行う。

〔24 年度当初予算額 131 → 25 年度見積額 130〕

(4) 東京都若年性認知症総合支援センター設置事業

若年性認知症本人及び家族のためのワンストップ相談窓口の設置や、地域包括支援センター等への支援を行うことにより、早期に適切な支援に結びつける。

〔24 年度当初予算額 23 → 25 年度見積額 23〕

2 高齢社会対策区市町村包括補助事業

区市町村が地域の実情に応じて主体的に行う、高齢者分野の基盤の整備及びサービスの充実を支援することにより、都民の福祉の増進を図ることを目的とする。

〔24 年度当初予算額 3,780 → 25 年度見積額 3,780〕

（新規事業）認知症の人の家族を支える医療機関連携型介護者支援事業

認知症疾患医療センター等の医療機関周辺に認知症介護者支援の拠点を設け、医療機関の専門職と連携した介護者支援のための講座や交流会を開催し、介護者の孤立化の防止等を図る。